

令和2年度事業・ヤビツ峠観光拠点施設について

1 事業概要

本事業は、観光拠点施設として「ヤビツレストハウス（仮称）」を整備し、森林・里地里山・観光の連携事業を展開することで、交流人口の増加と市内消費を生み出し、地域所得の向上や観光振興、アウトドア活動やグリーンツーリズムが盛んな地域イメージの確立を図ることを目的としています。

なお、本事業は、地方創生推進交付金を活用した3か年事業であり、平成30年度から令和2年度までが交付金の対象となります。

2 これまでの経過

(1) 平成30年度の主な取組

当事業の計画づくりを行うため、表丹沢及びヤビツ峠周辺における地域資源の現状分析や課題抽出に加え各種調査を実施することから、協力業者をプロポーザル審査会により決定しました。

また、事業内容や整備する観光拠点施設の検討に当たり、学識経験者や地元団体及び関係事業者から幅広く意見をいただくため、ヤビツ峠周辺活性化推進協議会を全3回開催しました。

(2) 令和元年度（平成31年度）の主な取組

前年度の各種調査結果等を基礎に、観光拠点施設で販売する周辺地域の特色ある飲食物等の商品開発や体験プログラムの開発と共に、観光拠点施設の設計を行いました。

協議会は2回開催し、商品開発や体験プログラムを始め、事業の推進について引き続き意見をいただきました。

3 令和2年度の主な取組

観光拠点施設の工事発注をはじめ、プロポーザル方式による施設運営者の募集や施設名称の公募、備品・消耗品等の購入等、運営体制を整備しました。

なお、施設については、秋頃に供用開始するよう進めていましたが、令和元年10月の台風19号の影響によりヤビツ峠から清川村方面の道路が崩落し、十分な集客が見込めないため、令和3年3月に延期しました。

施設では、特色ある飲食等の提供や地域特産品の販売のほか、森林セラピー等のアクティビティを実施しています。

4 ヤビツ峠レストハウスについて



(1) 施設名称

施設を広くPRするとともに、登山者、サイクリスト、観光客及び地域の方等に愛着を深めていただくことを目的に、施設名称を公募しました。

ア 応募期間 令和2年8月17日（月）～9月30日（水）

イ 応募方法 1人1点まで。応募用紙により、持参、郵送、FAX、メールのいずれかの方法で観光振興課へ提出

ウ 結果 「ヤビツ峠レストハウス」

385件（市内193件、市外192件）の応募があり、「施設の特徴をとらえ、親しみやすい」という観点から、事務局にて15件に絞り、最終的に協議会委員及び観光振興課等の職員による投票を数値化し、決定しました。

(2) 施設概要

ア オープン日 令和3年3月28日（日）

イ 所在地 秦野市寺山字鷹採1728-1

ウ 工事概要

(ア) 構造 木造平屋建

(イ) 延べ面積 59.29㎡

(ウ) 施設内容 オープンスペース、厨房、トイレ、事務室、屋外デッキ

(エ) 設計費 約415万円

(オ) 建設費 約5900万円（本体価格）

(カ) 施工業者 株式会社みどりや

エ 主な財源

地方創生推進交付金（国）、市町村自治基盤強化総合補助金（県）、東財産区繰出金、ふるさと寄附金

(3) 施設運営

飲食物販の提供及び体験プログラムの実施等、ヤビツ峠に適したサービスを提供することで、来訪者の利便性及び表丹沢の魅力を向上させ、地域の観光振興に資する拠点とするため、山小屋を含む観光施設経営者、アウトドア関連企業や地元活動団体等から、幅広い提案を受けた方が有効であることから、公募型プロポーザル方式により運営候補者を選定しました

ア 応募期間 令和2年8月24日（月）～9月30日（水）

イ 結果 平野 義耀（ひらの よしあき、秦野市内在住）

3者から応募があり、運営業務の企画提案審査会を開催し、決定しました。

ウ 運営内容

(ア) 営業時間 平日 午前9時から午後4時まで

休日 午前8時30分から午後4時30分まで

(イ) 休業日 毎週水・木曜日（祝日の場合は翌日）

(ウ) 主な飲食・物販メニュー

軽食	カレーライス、豚汁、ソフトクリーム、ロールケーキ
飲料	コーヒー、紅茶、クロモジ茶、ジュース、お酒類
物販	市内特産品や登山・自転車用品、雑貨類
その他	体験事業（森林セラピー等）、山ピアノ

5 その他

(1) 広報宣伝

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、広報宣伝業務については、「ヤビツ峠ガイドマップ」作成・配布のみを行い、その他は令和3年度へ繰り越しています。（資料1-3）

(2) ヤビツ峠イメージキャラクター

本市在住の漫画家・イラストレーターの鬼頭莫宏（きとう もひろ）氏にデザインしていただきました。「ヤビツ峠ガイドマップ」等に登場しています。

